



果菜類



特長

- ◆アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、チョウ目害虫の同時防除が可能
- ◆コナジラミ類のローテーション防除剤の一つとして有用
※コナジラミ類はトマト、ミニトマト、なすに登録があります。
- ◆収穫前日まで使用が可能

殺虫スペクトラム

■主な果菜類害虫に対する殺虫活性(有効成分)

目	害虫名	殺虫活性	目	害虫名	殺虫活性
アザミウマ目	アザミウマ類	○	ハエ目	ハモグリバエ類	○
チョウ目	オオタバコガ	○	カメムシ目	コナジラミ類	○
	ハスモンヨトウ	○		アブラムシ類	×
ダニ目	ハダニ類	×	コウチュウ目	ニジュウヤホシテントウ	×(50ppm)

○:日本植物防疫協会による圃場試験結果から実用濃度相当(47ppm)で実用的な防除効果が認められると推察されるもの。

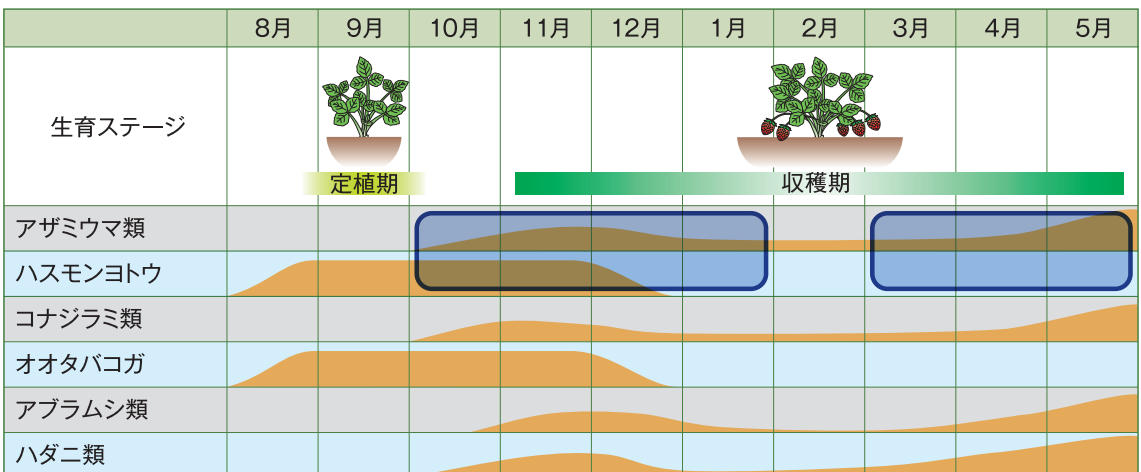
×:室内試験結果から実用濃度相当(47ppm)で実用的防除効果が認められないと推察されるもの。

—:データなし 参考:ディアナSC 2,500倍=47ppm

※○×表記は有効成分の殺虫活性の有無を示すものであり、実際の登録内容とは異なる場合があります。

生育と害虫発生パターン例

■いちごでのディアナSC散布時期



 ディアナSCのおすすめ散布時期

 害虫発生時期

いちごでは、重要害虫であるアザミウマ類に対して、定植直後より収穫前日までの使用が可能。

【注意】地域により害虫の発生および防除時期が異なるので、病害虫防除所等関係機関の指導に従い使用してください。



果菜類



適用害虫および被害

アザミウマ類

■ ミカンキイロアザミウマ



被害



成虫

■ ミナミキイロアザミウマ



被害



成虫

ハモグリバエ類

■ トマトハモグリバエ



被害



成虫

■ マメハモグリバエ



被害



成虫

コナジラミ類

■ タバココナジラミ



被害



成虫

■ オンシツコナジラミ



被害



成虫

チョウ目

■ オオタバコガ



被害



幼虫

■ ハスモンヨトウ



被害



幼虫

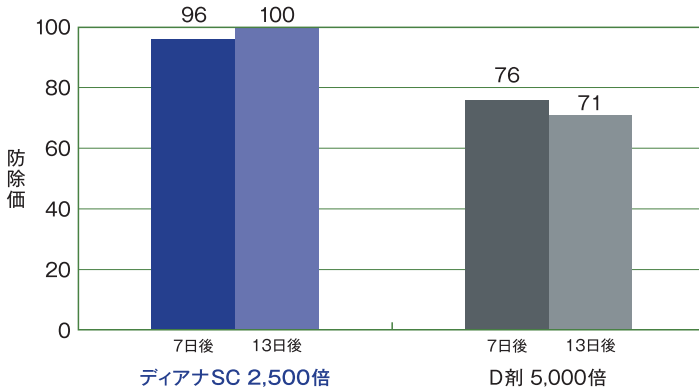


果菜類



ミカンキイロアザミウマ(圃場試験)

防除効果(いちご)

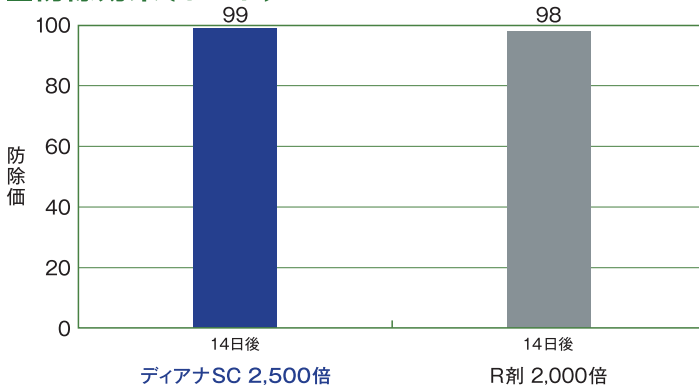


実施年:2006年
 試験場所:長野県南信農業試験場
 供試作物:いちご(品種:章姫)
 区制・反復:1区3㎡(25株)・3反復
 散布日:6月2日
 散布方法:背負式動力噴霧器(300ℓ/10a相当)
 調査日:6月9日、15日
 調査方法:1区につき任意の10花を採取し、
 実体顕微鏡下で寄生虫数を調査。

対照薬剤に対して優れた効果
 であり、実用性は高い。

タバココナジラミ(圃場試験)※バイオタイプQ

防除効果(トマト)

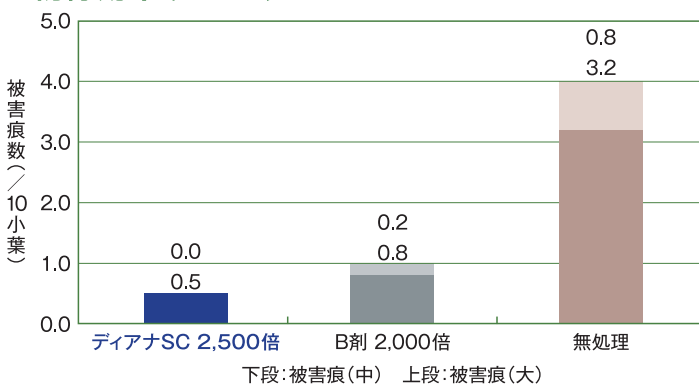


実施年:2012年
 試験場所:福岡県農業総合試験場
 供試作物:トマト(品種:桃太郎なつみ)
 区制・反復:1区8㎡(10株)・2反復
 散布日:10月12日、19日、26日、11月2日
 散布方法:散布
 調査日:11月16日
 調査方法:各区全株について、各株の上・中・
 下位から1複葉(3複葉/株)に寄生
 する4齢幼虫数を調査。

対照薬剤とほぼ同等の効果で
 あり、実用性は高い。

トマトハモグリバエ(圃場試験)

防除効果(トマト)



実施年:2010年
 試験場所:住友化学(兵庫県)
 供試作物:トマト(品種:ホーム桃太郎)
 区制・反復:1区(8株)・3反復
 散布日:7月7日
 散布方法:背負式動力噴霧器(200ℓ/10a相当)
 調査日:7月21日(散布14日後)
 調査方法:1区(20小葉)あたりの被害痕数を
 大、中、小に分けて調査。

対照薬剤に対して優れた効果
 であり、実用性は高い。

被害痕判定基準:大(蛹化脱出後) 中(3cm以上~蛹化脱出前) 小(長さ3cm以下)

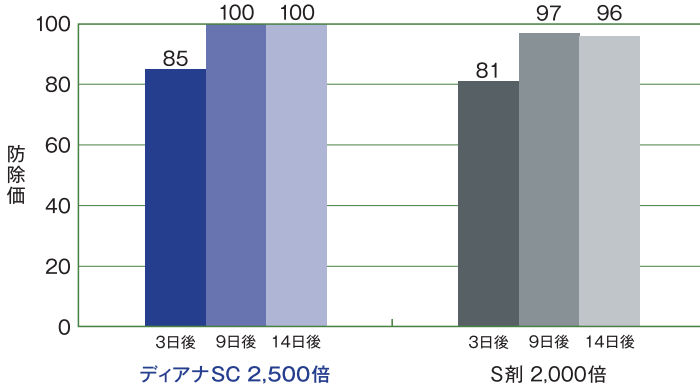


果菜類



オオタバコガ(圃場試験)

防除効果(ミニトマト)

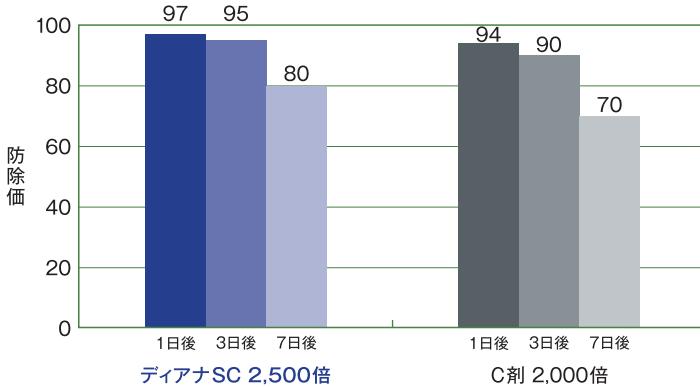


実施年:2007年
 試験場所:長野県野菜花き試験場
 供試作物:ミニトマト(品種:千果)
 区制・反復:1区 10㎡(20株)・3反復
 散布日:8月16日
 散布方法:背負式動力噴霧器(300ℓ/10a相当)
 調査日:8月19日、25日、30日
 調査方法:上・中位20複葉に生息する幼虫・成虫数を調査。

対照薬剤に対して優れた効果であり、実用性は高い。

ハスモンヨトウ(圃場試験)

防除効果(いちご)



実施年:2006年
 試験場所:奈良県植物防疫協会
 供試作物:いちご(品種:アスカルビー)
 区制・反復:1区(20株)・3反復
 散布日:10月11日
 散布方法:肩掛式電動噴霧器(150ℓ/10a)
 調査日:10月12日、14日、18日
 調査方法:1区(5株)に寄生する幼虫数を調査。

対照薬剤に対して優れた効果であり、実用性は高い。

